



活ける泉

年間聖句
願いと祈りと執り成し
と感謝とをすべての人々
のためにささげなさい。
テモテ 2章1節

第78回 高等学校卒業式 式辞

校長 石村直義

活水高等学校を卒業される皆さん、ご卒業、おめでとうございます。3年間の活水高校生活、または活水中学・高校6年間の生活を振り返り、今、何を思い返すでしょうか。毎日の授業において、目や耳や指先、頭や気持ちを、直につかって重ねられた学び、休み時間や学級活動、行事等を通して交わり深まった友人との関わり、クラブ、委員会等の共同活動によって磨かれた技術や感性、精神力、表現力。自分のできる精一杯を発揮してきたすべての学校生活は、多くの仲間、先輩・後輩と直接に関わり、とても大きな成長が遂げられた大切な時間でした。



活水では、毎日、聖書が読まれ、讃美歌を歌い、祈りを捧げることを通して、私たちを決して見放さない神様からどこまでも深く大きな愛が注がれていることを繰り返し心に刻んできました。活水の根幹たる建学の精神、キリスト教教育を通して、聖書のメッセージを皆さんの心に届けることができたのであれば、これに勝るものではありません。

これから、皆さんが踏み出す新しい場所、そして流れゆく時間は、大きな希望に満ち溢れているとともに、いかようにも変わる、まさに激動の環境です。どうすれば自分を見失わず、しあわせな人生を歩むことができるでしょうか。

自分の希望を確かにもって、しっかり取り組む。自分の幸せを実現し、その幸せを愛をもって周囲の人と分かち合う。たとえ困難があっても、自分を決して見放すことなく、大きな手をもって力強く導き支えてくださる天の神がいてくださることを信じる。聖書の御言葉によって示された「信仰、希望、愛」（コリントの信徒への手紙一13章13節）は何よりの生き方であろうと、私は確信しています。

この活水の生活で身につけたことを、自信をもって実践し続けてください。卒業してそれぞれの道に進んでいっても、本校でいつも心がけた「わたし、輝く。ともに、輝く。」のモットーは、必ず、皆さんの歩みを照らす光となり力となります。恐れず歩んでください。

一人の女性として、一人の人間として、希望の天空へ羽ばたいて行かれることを心から願い、祈っています。



感謝の辞

卒業生代表 服部 羽奏

三年前の春、私たちはこのチャペルに集いました。思い起こせば活水高校での三年間は数えきれないほどの思い出と学びがあり、一つ一つの経験が今の私たちを形作っているのだと感じています。

一年生。私たちにとって初めての経験であった活水祭。準備の段階では戸惑うことも多くありましたが、クラスの人々と協力しながら一つのものを作り上げていく中で、大きな達成感とクラスの絆が深まっていったことを実感しました。

二年生。この一年間は私にとって最も悩み、葛藤した一年でした。バスケットボール部では部長を任せられ、仲間との接し方に迷い思うようにいかない日々が続きました。時には苦しく、やめたいと感じることもありましたが、仲間や友人の存在に支えられ、少しずつ前を向くことができました。何かに全力で取り組むことの素晴らしさや、仲間がいることの心強さを部活動を通して学ぶことができました。

三年生。高校生活最後の体育大会で踊ったメイポールダンス。私は中学生のころから先輩方が美しく踊るメイポールダンスを見てきて、早く自分たちも先輩たちのように踊りたいと思ってきました。本番で演技をする中で活水で過ごした六年間の思い出がよみがえりました。本番前に学年全員で円陣を組み心を一つにしたこと、そして体育大会後に一つのポールを囲んで踊った時間は忘れられない宝物です。

在校生の皆さん、長い歴史を持つ活水の歩みはこれから皆さんへと引き継がれていきます。仲間との時間を大切にしながら、自分たちらしい新しい歴史を築いてください。

そして、同級生のみんな、私たちは三年間楽しいだけでなく、悩みや困難も乗り越えてきました。誰かのために行動できるそんなみんなと過ごした日々は、私にとってかけがえのない時間です。本当にありがとう。

これから先、それぞれの目標に向かって進んでいく中で、自分の努力が報われず不安になることもあると思います。しかし、この努力という種がこれからの私たちの糧となり、いつか必ず実を結ぶことになることは確信しています。活水高校でこの学びを得られたことに、深く感謝します。本当にありがとうございました。活水高校の更なる発展を願い、感謝の辞とさせていただきます。（要約：馬場彬）

魂ゆずり

高校卒業式において行われる「魂ゆすり」は活水の伝統的な儀式です。創立者ラッセル先生の願いと卒業生の思いが託され、卒業生から在校生へと受け継がれていきます。

手桶には二本のリボンが結ばれますが、今年は、卒業生代表の竹前しおんさんから「純潔」を表す白いリボン、「平和」と「友情」を表す「勿忘草色」のリボンが結ばれました。神様が注いでくださる恵みを分かち合いながら、平和を求める心と 友人をはじめこれから出会う人々をも大切にすることをもち続ける女性になってほしい との願いが込められました。

(要約：常泉晶子)

在校生代表 平井 彩摘

私はまず、在校生代表として魂ゆすりをさせていただくにあたり2つのことを考えました。1つ目は「代表」という重荷です。しかし今は、代表の役目をしっかりと果たせたという自身と誇りです。2つ目は「協力」です。3年生の先輩と息を合わせ、何度も練習を重ねました。勿忘草色に込められた「平和と友情」、私の心にこの言葉はしっかりと刻みこまれました。

卒業礼拝

高校3年生のみなさん、卒業、おめでとうございます。今日一緒に読んだ聖書の箇所は、パウロという伝道者が牢屋の中で書いた「獄中書簡」と呼ばれています。教会も学校も人の集まりなので問題は多くありますが、問題を抱えながらも暗闇に輝く星のような人も多くいます。私たちの活水で大切にしてきた言葉があります。「わたし、輝く。ともに、輝く」です。自分が輝くことで周りも輝く、友達が輝くことで自分も輝く。活水で生活した間、みなさんの内に働きかけた神がいます。その神様に誠実であること、小さく簡単なことを日々実行できる人になってほしいと思います。それが輝くということです。みなさんの輝きが活水の誇りなのです。卒業した後でもか「わたし、輝く。ともに、輝く」そんな生き方であることを心から祈ります。

（要約：北見さとみ）



3月行事予定

9月	高Ⅰ探究発表会
10(火)	高Ⅱ探究発表会、40分授業
11(水)	中学卒業礼拝、お別れ行事
12(木)	中学卒業式
	(高校自宅学習日)
13(金)	中学特別行事(中1・2)
16(月)	40分授業
18(水)	高Ⅰ・Ⅱ教科書販売
19(木)	全校探究Day
20(金)	春分の日
23(月)	球技大会
24(火)	終業式
	高Ⅰ・Ⅱ春期自習会(27日)
	基礎学力テスト
26(木)	韓国研修旅行(29日)
28(土)	新入生オリエンテーション
29(日)	寄宿舎閉鎖 (9時～31日12時)

高Ⅱ修学旅行

活水高校として、初のマレーシア・シンガポール修学旅行となりました。出発前の段階から準備することが多く、保護者の皆様には多大なるご協力をいただいたことに感謝いたします。全ての時間が素敵な時間となり、充実した修学旅行となりました。以下、修学旅行委員の感想です。（草野深音）



○不安が大きかったですが、友達と一緒になのでとても楽しかったです。人生最後の修学旅行をこのメンバーで行けたことは、最高の思い出です。（ⅡA 谷添）
○ドキドキの初海外でしたが、普段から英語にふれる機会が多いおかげで現地の人や各交流会でも楽しくコミュニケーションをとることができました。（ⅡB 中原）
○初めての海外で日本とは違うところにたくさん気づかされたし、友達ともさらに仲良くなれ、最高の修学旅行となりました。（ⅡC 山川）
○とても充実した修学旅行でした。たくさんの貴重な経験をすることができ思い出を作ることができました。みんなと行くことができてよかったです。（ⅡD 山下）

アンサンブル W全国出場！

第51回九州アンサンブルコンテストが、2月7日（中学生の部）、8日（高等学校の部）が沖縄コンベンションセンターで開催されました。なんと活水初、九州の中でも初となる同じ学校からの代表！となりました。3月21日（土）、広島文化学園HBGホールにて行われる全国大会に出場します。精一杯頑張ります。長崎からの応援をよろしくお願いします。（杉町たまみ）



高Ⅰ 高大連携 パネルディスカッション

2月4日（水）、活水女子大学の4年生3名をお招きし、パネルディスカッションを実施しました。パネリストは、子ども学科の野原結心さん、音楽学科の加束紗采さん、英語学科の宮崎春花さんの3名です。

司会を務めたⅠBの田添さんは、「これまで大学は“自立しなければならない場所”というイメージを持っていましたが、先輩方のお話を伺い、そうではなく“自分のしたいことにいろいろ挑戦できる自由な場所”なんだと感じました」と感想を述べてくれました。生徒たちにとって、大学生活を具体的に思い描き、自らの将来について考える貴重な機会となったようです。（古田雄介）



中2修学旅行

中2は、2月25～27日の3日間、東京へ行きました。1日目は平和祈念展示資料館で平和学習をしました。2日目はディズニーランドを満喫し、3日目は活水と同じプロテスタント系の女子聖学院中学校を訪れて交流会をしました。思い出に残る旅行となりました。以下は生徒の感想です。（菅のの香）



○この3日間は、ずっと前から楽しみにしていたのに、始まったら一瞬で終わってしまいました。クラスみんなとより仲良くなることができてとても良かったです。（武富日南子）

高Ⅱダンス発表会

3月4日6校時に高校Ⅱ年生ダンス発表会を行いました。短い時間の中で各クラスのダンスを一生懸命仕上げました。今回は、基本6番と創作ダンスの2つの作品をクラスで競いました。ABクラスは、にこパンマンが登場し、面白い作品に仕上げました。Cクラスは、可愛さとかっこよさを出してCクラスらしい作品でした。Dクラスは、本の中にご招待する物語ある作品でした。個性豊かな作品ばかりで楽しいダンス発表会となりました。結果は以下のとおりです。1位ABクラス、2位Cクラス、3位Dクラス（向井杏奈）



中学卒業生に贈る言葉

中学3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！中3が始まった時は、言ったことを守れないことが多く、時間厳守のこと、掃除をきちんとすること等伝えてきたと思います。皆は、なんとか言いながらも日に日に成長していました。今では、様々なことに対して、助けてくれたり、決めたことをきちんと出来るようになったり、後輩の面倒も見れるようになりましたね。優しい人が多く、私自身助けてもらったこともありました。最後のダンス発表会は、3年間の成長が見られた皆らしい作品に仕上がっていて、感動しました。3年間よく頑張りましたね。皆の担当が出来てよかったです。高校でも自分らしく頑張ってください。応援しています。（向井杏奈）



中学3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。自分のことしか考えられなかった中学1年生の頃、後輩ができ、先輩としての自覚と少しヤンチャをしたい中学2年生、中学3年生になると急に周りの人たちに優しくなりましたね。縦割りの活動も一生懸命リーダーシップをとり後輩を導いてくれました。先日のダンス発表会では、見事な創作ダンスを披露してくれました。高校生活でもいろいろなことに挑戦し、もっともっと自分自身を磨いてください。みなさんの成長と活躍を楽しみにしています。（常泉晶子）

中学特別行事

中1と中3は、特別行事で三菱重工長崎造船所に行きました。三菱重工造船所は、1861年に完成した日本初の洋式工場で、明治時代から現在まで使用されています。この造船所は、国の重要景観建造物に指定され、世界遺産にも登録されています。その中の「明治日本の産業革命遺産」である、小菅修船場跡、第三船渠、占勝閣、旧小型場、ジャイアント・カンチレバークレーンの5つについて、直接見てお話を聞き、勉強しました。歴史あるものを間近で見て勉強して、いい時間になりました。（向井杏奈）



今月の聖句

「彼が受けた懲らしめによって、わたしたちに平和が与えられ、彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされたい。」
イザヤ書53章5節

キリスト教の暦では2月18日からレント（受難節）に入りました。キリスト教の暦は基本的にイエス・キリストの生涯をたどります。受難というのは、イエス・キリストが十字架の苦しみを受けた苦しみを意味します。イースターの前日までの日曜日を除く40日間をさします。受難節の最後の一週間を受難週と呼びます。十字架は私たちの罪を意味し、その十字架によって赦されていることも意味します。イエス・キリストの苦しみによって私たちが救われたことをイエス・キリストの苦しみと同時に覚える季節です。皆さまの上にイエス・キリストの恵みがありますよう、お祈りします。（北見さとみ）

大会等成績

＜中高吹奏楽部＞
長崎県高等学校文化連盟表彰
長崎県教育委員会表彰
九州アンサンブルコンテスト 中学生の部 金賞・代表
全日本アンサンブルコンテスト 中学生の部(広島)出場
まつうら音楽コンクール 【ソロの部】
《準グランプリ・金賞》川野
《優秀賞・金賞》藤原
《金賞》和田 山本
九州アンサンブルコンテスト 高校の部 金賞・代表
全日本アンサンブルコンテスト 高校の部(広島)出場
まつうら音楽コンクール 【ソロの部】
《グランプリ・金賞》竹本
《準グランプリ・金賞》大瀬良
《優秀賞・金賞》山田(凜) 見陣
《金賞》中村 岩永
《銀賞》大坪 松田 荒嶋 石橋 川本 澤津 柴田
田中 竹内 阿野 浦野 樫本 佐藤
山崎(ひ) 山崎(路)

＜中学新体操部＞
長崎市民生活部スポーツ振興課・長崎市スポーツ奨励賞

＜高校サッカー部＞
長崎県高等学校新人体育大会サッカー競技女子 準優勝

＜個人＞
日本私学中学高等学校連合会・長崎県私立中学高等学校協会 会長表彰 ⅢA特 坂井みき 中3 大石仁菜

長崎県高等学校文化連盟表彰 ⅢA英 竹内伶

長崎県高等学校卒業生顕彰 ⅢD 大坪優

長崎県高等学校体育連盟卒業生顕彰 ⅢC 金子七海

長崎市教育委員会・長崎市スポーツ賞 ⅢD 中山梨優
(岩永崇史)